
失明1Q93

浮羽ゆ-

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

失明1Q93

【Nコード】

N9899V

【作者名】

浮羽ゆ -

【あらすじ】

ジャスト200文字の小説です。

あの日、光を失った。
冬はまだだった。

臙脂色の空に、鳥の群れが旅立つのがたまらなく淋しかった。
泣いていいのか、どうしようもなく悩み方がわからなかった。

父親の手が冷たかった。
母親の手が熱かった。

体が溶けていくのが今ならいいと思った。

漠然と、光を失くしたんだと、
ただ繰り返し、闇の中で想った。

こみ上げ、頬を伝っていく涙のぬくもり。
そこに、命ある身の安堵は覚える。

でも、私は今、自分が泣いてる顔さえ見えない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9899v/>

失明1Q93

2011年10月3日19時51分発行